

久留米工業大学大学院

令和 8 (2026) 年度

工学研究科(修士課程)入学者選抜実施要項

令和 7 (2025) 年度

秋季入学 工学研究科(修士課程)入学者選抜実施要項

久留米工業大学大学院

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66

TEL 0942-65-3488 (入試課)

0942-22-2345 (代表)

FAX 0942-65-3487

URL <https://www.kurume-it.ac.jp>

E-mail nyushi@kurume-it.ac.jp

目 次

久留米工業大学大学院アドミッション・ポリシー	1
久留米工業大学大学院専攻アドミッション・ポリシー	2
令和 8（2026）年度	
A O 入学試験	3
推薦入学試験	5
一般入学試験	7
外国人留学生 A O 入学試験	10
外国人留学生一般入学試験	12
社会人特別選抜入学試験	15
久留米工業大学大学院修士課程社会人コースについて	17
令和 7（2025）年度	
秋季入学 推薦入学試験	20
秋季入学 一般入学試験	22
学内推薦制度	
学内推薦入学試験	25
久留米工業大学から本学大学院へ進学される方の奨学金制度について	27
久留米工業大学組織図	60
大学院 副専攻プログラム「地域課題解決型高度 AI 教育プログラム」について	61
大学院工学研究科	
エネルギーシステム工学専攻	62
電子情報システム工学専攻	63
モビリティシステム工学専攻	64
教員一覧	65



久留米工業大学は、
日本高等教育評価機構の
認証評価認定校です。

久留米工業大学大学院アドミッション・ポリシー

久留米工業大学は「人間味豊かな産業人の育成」を建学の精神とし、これに基づいて「知・情・意の調和のとれた実践的教育を行う」としています。本学大学院では、学部における一般的並びに専門的な学力を持つ人に、広い視野に立って深い学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度な能力を養うことを目的としています。本学大学院は、ものづくりに強い興味を持ち、さらに高度の技術力を身につけて、社会において活躍したいという強い意志を持った人を求めています。

求める学生像

- ・ものづくりに強い興味を持ち、新技術を開拓しようとする意欲のある人
- ・高度の専門知識を身につけ、将来工学の分野で社会に貢献しようとする人
- ・広範な工学や理学の知識を身につけ、技術者や研究者として活躍したいと意欲のある人

求める資質

- ・工学の分野で十分な基礎的・専門的知識を身につけ、さらに高度の専門知識を修得しようとする人
- ・高度にして専門的な研究にあたり、高い研究意欲を有する人
- ・自らの考えを理論的に表現できること

入学者選抜の基本方針

AO 入学試験

- ・学部の成績を評価します。
- ・面接において、自己表現力を重視します。
- ・卒業研究内容についてのプレゼンテーション能力を評価します。

推薦入学試験

- ・学部の成績を評価します。
- ・学部での研究内容の継続性を考慮し、学科長および卒業研究指導教員の推薦を重視します。
- ・面接において、自己表現力を重視します。

一般入学試験

- ・専門知識を評価します。
- ・基礎的英語力を評価します。
- ・面接において、自己表現力を重視した評価をします。

社会人特別選抜入学試験

- ・これまでの社会経験に基づく自己表現力を重視した評価を行います。
- ・学習・研究に対する意欲・能力を重視した評価を行います。
- ・コミュニケーションおよびプレゼンテーション能力を評価します。

外国人留学生入学試験

- ・日本語能力およびコミュニケーション能力を評価します。
- ・専門的な学習・研究に対する意欲を評価します。
- ・自己表現力を重視した評価を行います。

久留米工業大学大学院専攻アドミッション・ポリシー

エネルギーシステム工学専攻

エネルギーシステム工学専攻では、身近な家庭の生活空間から企業における社屋や製造現場、更には地球規模でのエネルギー問題に対して技術的な視点だけではなく人文社会科学的視点からもその本質を明確にした上で環境に配慮した対処・解決法の考案ができるように教育します。またそのために必要な装置等を創造する能力を養うようにも教育します。つまりエネルギー問題を多面的かつシステム的に捉えることのできる技術者や教育者の養成を目指しています。そのため本専攻では、エネルギーやエネルギーに関わる問題に興味を持ち、それに関する基礎知識を備え、更に深く探求し研鑽を積むことに意欲的な人材を求めています。

電子情報システム工学専攻

電子情報システム工学専攻では、電子・情報工学の分野における基礎的な専門知識および技術者として必要な倫理観、コミュニケーション能力を持つ人に、更に広い視点に立って深い学識を授け、電子回路、知能制御工学、情報・計算機システム工学に関わる研究、開発、設計および生産技術などに対応できる高度の専門能力を身につけた電子情報専門技術者を育成することを目的としています。そのため本専攻では、電子・情報工学の分野に興味を持ち、この分野の高度な専門知識を身につけて、将来の情報化社会を担いたいという意欲のある人を求めています。

モビリティシステム工学専攻

モビリティシステム工学専攻では、総合工学としてのモビリティシステム（ここでは、広義に解釈して自動車、航空機、宇宙機（ロケットや人工衛星など）、自動走行モビリティなどをさします）を取り扱うための広い視野に立った深い学識を授け、高度機械技術の融合体である先進自動車や航空機、宇宙機のエンジン、ボデー、パワートレイン、安全、デザインなどの研究、開発、設計、生産技術に対応できる高度専門技術者を育成することを目的とします。そのため、本専攻ではモビリティシステムの技術に興味を持ち、この分野の専門知識を更に深めて新技術を研究・開拓し、将来の自動車産業や航空宇宙産業の分野で活躍したいという強い意欲のある人を求めています。

入学定員

エネルギーシステム工学専攻	5名
電子情報システム工学専攻	20名
モビリティシステム工学専攻	5名

A O 入学試験

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻	若干名	モビリティシステム工学専攻	若干名
電子情報システム工学専攻	若干名		

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2026年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者および2026年4月1日までに22歳に達する者
- (9) 本学において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願および試験日程等

	前 期	後 期
出 願 期 間	2025年9月5日(金)～9月18日(木)※	2026年1月16日(金)～1月28日(水)※
試 験 日	10月1日(水)	2月12日(木)
試 験 場	本学	本学
合 格 発 表	10月15日(水)	2月27日(金)

※締切日消印有効

4. 選考方法

プレゼンテーション、面接および出願書類等により総合的に選考します。

＊プレゼンテーション

久留米工業大学大学院アドミッション・ポリシーおよび志望専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、大学院を志望した理由、大学院で何を学びたいか、将来の夢や目標等を総合して10分程度で発表してください。

5. 出願手続

- (1) 出願書類
 - ① 志願票（様式1）
 - ② 自己推薦書（様式2）
 - ③ 卒業研究報告および研究（希望）計画書（様式4）

- ④ 志望理由書（様式5）
- ⑤ 卒業証明書または卒業見込証明書（出身大学長または学部長が発行したもの）
- ⑥ 単位取得証明書または成績証明書
出身大学長または学部長が発行したもので、履修した科目の単位数および成績評定を記入したもの
- ⑦ その他
 - イ) 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること
 - ロ) 出願資格(3)および(5)に該当する者は出願する前に、あらかじめ本学入試課に申し出て、その指示を受けること

(2) 入学検定料

30,000円（本学卒業生の検定料は10,000円）

本学指定の銀行振込依頼書により指定された期間内に振込手続を行ってください。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- ② 出願は郵送（簡易書留）に限ります。（締切日消印有効）
- ③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(4) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL 0942-65-3488

6. 合格発表

可否の結果は、本人へ郵送で通知します。

7. 入学手続

入学料・授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続を行ってください。

（入学手続の詳細は、合格発表の際に通知します。）

■ 学納金

単位：円

	入学手続時	後 期
入 学 料	110,000	—
授 業 料	300,000	300,000
実験実習費	60,000	60,000
教育充実費	50,000	50,000
委託徴収費	11,750	15,000
計	531,750	425,000

※本学卒業生の入学料は免除します。

■ 入学手続期間

	前 期	後 期
入 学 料	2025年10月16日(木)～10月24日(金)	2026年3月2日(月)～3月16日(月)
授 業 料 等	2026年3月2日(月)～3月16日(月)	

8. 注意事項

- (1) 受験の際、受験票は必ず携帯してください。
- (2) 出願手続後は、出願書類の記載事項の変更は認めません。

9. 入学辞退の手続

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続を完了してください。入学手続完了時納入金のうち、入学料を差し引いた額を返還します。

受付期間：2026年3月31日(火) 17時まで（時間厳守）

連絡先：久留米工業大学 入試課 TEL 0942-65-3488

推薦入学試験

※本学の在学生につきましては「学内推薦入学試験」の項をご参照ください。

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻	若干名	モビリティシステム工学専攻	若干名
電子情報システム工学専攻	20名（前期15名、後期5名）		

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2026年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者および2026年4月1日までに22歳に達する者

3. 出願および試験日程等

	前 期	後 期
出 願 期 間	2025年6月10日(火)～6月20日(金)※	2025年9月5日(金)～9月18日(木)※
試 験 日	7月6日(日)	10月1日(水)
試 験 場	本学	本学
合 格 発 表	7月18日(金)	10月15日(水)

※締切日消印有効

4. 選考方法

プレゼンテーション、面接および出願書類等により総合的に選考します。

＊プレゼンテーション

久留米工業大学大学院アドミッション・ポリシーおよび志望専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、大学院を志望した理由、大学院で何を学びたいか、将来の夢や目標等を総合して10分程度で発表してください。

5. 出願手続

- (1) 出願書類
 - ① 志願票（様式1）
 - ② 推薦書（様式3）
 - ③ 卒業研究報告および研究（希望）計画書（様式4）

- ④ 志望理由書（様式5）
- ⑤ 卒業証明書または卒業見込証明書（出身大学長または学部長が発行したもの）
- ⑥ 単位取得証明書または成績証明書
出身大学長または学部長が発行したもので、履修した科目の単位数および成績評定を記入したもの
- ⑦ その他
 - イ) 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること
 - ロ) 在日外国人で入学を志願する者は、住民票または在留カードの写し（両面）および留学同意書（様式6）、国内連絡人届出書（様式7）を提出すること。
 - ハ) 出願資格(3)および(5)に該当する者は、出願する前にあらかじめ本学入試課に申し出て、その指示を受けること

(2) 入学検定料

30,000円（本学卒業生の検定料は10,000円）

本学指定の銀行振込依頼書により指定された期間内に振込手続を行ってください。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- ② 出願は郵送（簡易書留）に限ります。（締切日消印有効）
- ③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(4) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL 0942-65-3488

6. 合格発表

可否の結果は、本人へ郵送で通知します。

7. 入学手続

入学科・授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続を行ってください。

（入学手続の詳細は、合格発表の際に通知します。）

■ 学納金

単位：円

	入学手続時	後 期
入 学 料	110,000	—
授 業 料	300,000	300,000
実験実習費	60,000	60,000
教育充実費	50,000	50,000
委託徴収費	11,750	15,000
計	531,750	425,000

■ 入学手続期間

	前 期	後 期
入 学 料	2025年7月22日(火)～7月29日(火)	2025年10月16日(木)～10月24日(金)
授 業 料 等	2026年3月2日(月)～3月16日(月)	

8. 注意事項

- (1) 受験の際、受験票は必ず携帯してください。
- (2) 出願手続後は、出願書類の記載事項の変更は認めません。

9. 入学辞退の手続

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続を完了してください。入学手続完了時納入金のうち、入学料を差し引いた額を返還します。

受付期間：2026年3月31日(火) 17時まで（時間厳守）

連絡先：久留米工業大学 入試課 TEL 0942-65-3488

一般入学試験

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻	若干名	モビリティシステム工学専攻	若干名
電子情報システム工学専攻	若干名		

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2026年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者および2026年4月1日までに22歳に達する者
- (9) 本学において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願および試験日程等

出願期間	2026年1月16日(金)～1月28日(水)※
試験日	2月16日(月)
試験場	本学
合格発表	3月3日(火)

※締切日消印有効

■ 試験科目および時間

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～13:00	14:00～
		外国語	専 門	
エネルギーシステム 工学専攻	英 語		次の9科目中、2科目選択 ・応用物理学 ・材料力学 ・熱力学 ・流体力学 ・機械力学 ・建築設備工学 ・建築環境工学 ・建築計画学 ・建築構造工学	面 接

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～12:30	14:00～
		外国語	専 門	
電子情報システム 工 学 専 攻	英 語	次の6科目中、2科目選択 ・工業数学（行列および行列式、微分積分） ・応用物理学（力学、電磁気学およびそれらを融合したもの） ・電気回路（電気回路解析） ・デジタル回路（ブール代数、組合せ回路、順序回路） ・情報工学（情報の表現、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータの仕組み） ・制御工学（伝達関数、時間の応答、周波数応答）		面 接

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～13:00	14:00～
		外国語	専 門	
モビリティシステム 工 学 専 攻	英 語	次の6科目中、2科目選択 ・材料力学 ・熱力学 ・流体力学 ・機械力学 ・電気工学 ・電子工学		面 接

- ① 試験当日は、9時までに試験室に入室すること。
- ② 筆記用具は鉛筆を使用のこと。（シャープペンシル可）
- ③ 英語の試験の際、辞書の持ち込みは可。ただし電子辞書は除く。
- ④ エネルギーシステム工学専攻およびモビリティシステム工学専攻の受験者は、専門科目試験の際に、関数機能のついた電卓を携帯すること。ただしプログラムが組める電卓は不可。
- ⑤ 電子情報システム工学専攻の受験者は電卓の使用は不可。

4. 選考方法

筆記試験（外国語100点、専門科目200点）、面接（10点）、および出願書類等により総合的に選考します。

5. 出願手続

(1) 出願書類

- ① 志願票（様式1）
- ② 卒業証明書または卒業見込証明書（出身大学長または学部長が発行したもの）
- ③ 単位取得証明書または成績証明書
出身大学長または学部長が発行したもので、履修した科目の単位数および成績評定を記入したもの
- ④ 受験科目届出票（様式12）
- ⑤ その他
 - イ) 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること
 - ロ) 在日外国人で入学を志願する者は、住民票または在留カードの写し（両面）、留学同意書（様式6）、国内連絡人届出書（様式7）を提出すること
 - ハ) 会社等に在職中の者は、所属長の受験許可書（任意様式）を添付すること
- ニ) 出願資格(3)および(5)に該当する者は出願する前に、あらかじめ本学入試課に申し出て、その指示を受けること

(2) 入学検定料

30,000円（本学卒業生の検定料は10,000円）

本学指定の銀行振込依頼書により指定された期間内に振込手続を行ってください。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- ② 出願は郵送（簡易書留）に限ります。（締切日消印有効）
- ③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(4) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL 0942-65-3488

6. 合格発表

合否の結果は、本人へ郵送で通知します。

7. 入学手続

入学料・授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続を行ってください。

（入学手続の詳細は、合格発表の際に通知します。）

■ 学納金

単位：円

	入学手続時	後 期
入 学 料	110,000	—
授 業 料	300,000	300,000
実 験 実 習 費	60,000	60,000
教 育 充 実 費	50,000	50,000
委 託 徴 収 費	11,750	15,000
計	531,750	425,000

※本学卒業生の入学料は免除します。

■ 入学手続期間

	日 時
入 学 料	2026年3月4日(水)～3月16日(月)
授 業 料 等	

8. 注意事項

- (1) 受験の際、受験票は必ず携帯してください。
- (2) 出願手続後は、出願書類の記載事項の変更は認めません。

9. 入学辞退の手続

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続を完了してください。入学手続完了時納入金のうち、入学料を差し引いた額を返還します。

受付期間：2026年3月31日(火) 17時まで（時間厳守）

連 絡 先：久留米工業大学 入試課 TEL 0942-65-3488

外国人留学生 AO 入学試験

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻	若干名	モビリティシステム工学専攻	若干名
電子情報システム工学専攻	若干名		

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で次の各号のいずれかの条件を満たす者

- (1) 日本の大学を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本学において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願および試験日程等

	前 期	後 期
出 願 期 間	2025年9月5日(金)～9月18日(木)※	2026年1月16日(金)～1月28日(水)※
試 験 日	10月1日(水)	2月12日(木)
試 験 場	本学	本学
合 格 発 表	10月15日(水)	2月27日(金)

※締切日消印有効

4. 選考方法

プレゼンテーション、面接および出願書類等により総合的に選考します。

* プレゼンテーション

久留米工業大学大学院アドミッション・ポリシーおよび志望専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、大学院を志望した理由、大学院で何を学びたいか、将来の夢や目標等を総合して10分程度で発表してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類

- ① 志願票（様式1）
- ② 自己推薦書（様式2）
- ③ 卒業研究報告および研究（希望）計画書（様式4）
- ④ 志望理由書（様式5）
- ⑤ 日本語能力証明書
日本語能力試験の2級以上の合格証明書
- ⑥ 最終出身学校の卒業証明書または卒業（見込）証明書
- ⑦ 単位取得証明書または成績証明書
出身大学長または学部長が発行したもので、履修した科目の単位数および成績評定を記入したもの
- ⑧ 出願資格(2)による場合は、学位授与機構の学位授与証明書
- ⑨ 留学同意書（様式6）
- ⑩ 国内連絡人届出書（様式7）
- ⑪ 住民票または公的機関が発行した国籍を証明する書類（在留カード、パスポートの写しなど）

⑫ その他

- イ) 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること
ロ) 出願にあたっては、あらかじめ本学入試課に申し出て、その指示を受けること

(2) 日本語能力審査

日本語による面接を行い、必要な日本語能力を審査する。

(3) 入学検定料

30,000円（本学卒業生の検定料は10,000円）

本学指定の銀行振込依頼書により指定された期間内に振込手続を行ってください。

(4) 出願上の注意事項

- ① 出願後の志望専攻の変更は認めません。
② 出願は郵送（簡易書留）に限ります。（締切日消印有効）
③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(5) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL 0942-65-3488

6. 合格発表

可否の結果は、本人へ郵送で通知します。

7. 入学手続

入学科・授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続を行ってください。

（入学手続の詳細は、合格発表の際に通知します。）

■ 学納金

単位：円

	入学手続時	後 期
入 学 料	110,000	—
授 業 料	300,000	300,000
実験実習費	60,000	60,000
教育充実費	50,000	50,000
委託徴収費	11,750	15,000
計	531,750	425,000

※本学卒業生の入学科は免除します。

■ 入学手続期間

	前 期	後 期
入 学 料	2025年10月16日(木)～10月24日(金)	2026年3月2日(月)～3月16日(月)
授 業 料 等	2026年3月2日(月)～3月16日(月)	

8. 注意事項

- (1) 受験の際、受験票は必ず携帯してください。
(2) 出願手続後は、出願書類の記載事項の変更は認めません。

9. 入学辞退の手続

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続を完了してください。入学手続完了時納入金のうち、入学科を差し引いた額を返還します。

受付期間：2026年3月31日(火) 17時まで（時間厳守）

連絡先：久留米工業大学 入試課 TEL 0942-65-3488

外国人留学生一般入学試験

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻	若干名	モビリティシステム工学専攻	若干名
電子情報システム工学専攻	若干名		

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で次の各号のいずれかの条件を満たす者

- (1) 日本の大学を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本学において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願および試験日程等

出願期間	2026年1月16日(金)～1月28日(水)※
試験日	2月16日(月)
試験場	本学
合格発表	3月3日(火)

※締切日消印有効

■ 試験科目および時間

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～13:00	14:00～
		外国語	専 門	
エネルギーシステム 工 学 専 攻	英 語		次の9科目中、2科目選択 ・応用物理学 ・材料力学 ・熱力学 ・流体力学 ・機械力学 ・建築設備工学 ・建築環境工学 ・建築計画学 ・建築構造工学	面 接

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～12:30	14:00～
		外国語	専 門	
電子情報システム 工 学 専 攻	英 語		次の6科目中、2科目選択 ・工業数学（行列および行列式、微分積分） ・応用物理学（力学、電磁気学およびそれらを融合したもの） ・電気回路（電気回路解析） ・デジタル回路（ブール代数、組合せ回路、順序回路） ・情報工学（情報の表現、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータの仕組み） ・制御工学（伝達関数、時間の応答、周波数応答）	面 接

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～13:00	14:00～
		外国語	専 門	
モビリティシステム 工 学 専 攻	英 語	次の6科目中、2科目選択 ・材料力学 ・熱力学 ・流体力学 ・機械力学 ・電気工学 ・電子工学		面 接

- ① 試験当日は、9時までに試験室に入室すること。
- ② 筆記用具は鉛筆を使用のこと。(シャープペンシル可)
- ③ 英語の試験の際、辞書の持ち込みは可。ただし電子辞書は除く。
- ④ エネルギーシステム工学専攻およびモビリティシステム工学専攻の受験者は、専門科目試験の際に、関数機能のついた電卓を携帯すること。ただしプログラムが組める電卓は不可。
- ⑤ 電子情報システム工学専攻の受験者は電卓の使用は不可。

4. 選考方法

筆記試験(外国語100点、専門科目200点)、面接(10点)、および出願書類等により総合的に選考します。

5. 出願手続

(1) 出願書類

- ① 志願票(様式1)
- ② 志望理由書(様式5)
- ③ 日本語能力証明書
日本語能力試験の2級以上の合格証明書
- ④ 最終出身学校の卒業証明書または卒業(見込)証明書
- ⑤ 単位取得証明書または成績証明書
出身大学長または学部長が発行したもので、履修した科目の単位数および成績評定を記入したもの
- ⑥ 出願資格(2)による場合は、学位授与機構の学位授与証明書
- ⑦ 留学同意書(様式6)
- ⑧ 国内連絡人届出書(様式7)
- ⑨ 住民票または公的機関が発行した国籍を証明する書類(在留カード、パスポートの写しなど)
- ⑩ 受験科目届出票(様式12)
- ⑪ その他
イ) 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること
ロ) 出願にあたっては、あらかじめ本学入試課に申し出て、その指示を受けること

(2) 日本語能力審査

日本語による面接を行い、必要な日本語能力を審査する。

(3) 入学検定料

30,000円(本学卒業生の検定料は10,000円)

本学指定の銀行振込依頼書により指定された期間内に振込手続をしてください。

(4) 出願上の注意事項

- ① 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- ② 出願は郵送(簡易書留)に限ります。(締切日消印有効)
- ③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(5) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL 0942-65-3488

6. 合格発表

可否の結果は、本人へ郵送で通知します。

7. 入学手続

入学料・授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続を行ってください。

(入学手続の詳細は、合格発表の際に通知します。)

■ 学納金

単位：円

	入学手続時	後 期
入 学 料	110,000	—
授 業 料	300,000	300,000
実 験 実 習 費	60,000	60,000
教 育 充 実 費	50,000	50,000
委 託 徴 収 費	11,750	15,000
計	531,750	425,000

※本学卒業生の入学料は免除します。

■ 入学手続期間

	日 時
入 学 料	2026年3月4日(水)～3月16日(月)
授 業 料 等	

8. 注意事項

- (1) 受験の際、受験票は必ず携帯してください。
- (2) 出願手続後は、出願書類の記載事項の変更は認めません。

9. 入学辞退の手続

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続を完了してください。入学手続完了時納入金のうち、入学料を差し引いた額を返還します。

受付期間：2026年3月31日(火) 17時まで(時間厳守)

連 絡 先：久留米工業大学 入試課 TEL 0942-65-3488

社会人特別選抜入学試験

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻	若干名	モビリティシステム工学専攻	若干名
電子情報システム工学専攻	若干名		

2. 出願資格

社会人特別選抜に出願できる者は、企業等に正規の社員または職員として勤務している者で入学後もその身分を有し、所属長から許可を受け、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において通常の課程による16年の学校教育の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣が指定した資格がある者
- (5) 本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。(短大等を卒業後2年以上、工学分野の実務経験があり、論文、特許、資格等により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。(2025年11月末までに事前に入試課へ問い合わせること。))

3. 長期履修制度について

長期履修制度とは、仕事を続けながら大学院に通う社会人などに配慮し、本来の標準修業年限内(2年)での履修が困難な場合、最長で4年間履修できる制度です。ただし、休学期間は、これに算入しません。その場合、授業料等は2年間分の総額を最長で4年間にわたって納入することも可能です。

4. 出願および入試日程等

出願期間	2025年7月1日(火)～2026年2月19日(木)※
試験日	必要書類が届き次第、調整のうえ試験の日時を決定
試験場	本学
合格発表	試験終了後、随時

※締切日消印有効

5. 選考方法

プレゼンテーション、面接および出願書類等により総合的に選考します。

＊プレゼンテーション：久留米工業大学アドミッション・ポリシーおよび志望専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、大学院を志望した理由、大学院で何を学びたいのか、将来の夢や目標等を総合して10分程度で発表してください。

6. 出願手続き

(1) 出願書類

- ① 志願票(様式1)
- ② 受験許可・承諾書(様式8)
- ③ 志望理由書(様式5)
- ④ 研究(希望)計画および履修計画書(様式9)
- ⑤ 卒業証明書(出身大学長または学部長が発行したもの)
- ⑥ 単位取得証明書または成績証明書

出身大学長または学部長が発行したもので、履修した科目の単位数および成績評定を記入したもの

⑦ その他

- イ) 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること
- ロ) 在日外国人で入学を志願する者は、住民票または在留カードの写し（両面）を提出すること
- ハ) 研究業績報告書（様式10）

卒業論文、研究論文を有する者は提出（可能な限り別刷りおよび業績概要を添付のこと）

ニ) 出願にあたっては、あらかじめ本学入試課に申し出て、その指示を受けること

ホ) 長期履修制度を利用する場合は、長期履修申請書を提出すること（様式11）

(2) 入学検定料

30,000円（本学卒業生の検定料は10,000円）

本学指定の銀行振込依頼書により指定された期限内に振込手続きを行ってください。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- ② 出願は郵送（簡易書留）に限ります。（締切日消印有効）
- ③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(4) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL 0942-65-3488

7. 合格発表

可否の結果は、本人へ郵送で通知します。

8. 入学手続き

入学料・授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続きを行ってください。

（入学手続きの詳細は、合格発表の際に通知します。）

■ 学納金

単位：円

	入学手続き時	後 期
入 学 料	110,000	—
授 業 料	300,000	300,000
実験実習費	60,000	60,000
教育充実費	50,000	50,000
委託徴収費	11,750	15,000
計	531,750	425,000

※本学卒業生の入学料は免除します。

※長期履修制度利用による授業料等の年額は、次頁以降の「久留米工業大学大学院修士課程社会人コースについて」の「参考2」参照のこと

9. 注意事項

- (1) 受験の際、受験票は必ず携帯してください。
- (2) 出願手続後は、出願書類の記載の変更は認めません。

10. 入学辞退の手続き

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続を完了してください。入学手続完了時納入金のうち、入学料を差引いた額を返還します。

受付期間：2026年3月31日（火） 17時まで（時間厳守）

連絡先：久留米工業大学 入試課 TEL：0942-65-3488

久留米工業大学大学院修士課程社会人コースについて

久留米工業大学大学院では社会で活躍されている皆さんに大学院修士課程へご入学いただき、さらに最新の知識を得ていただくとともにスキルアップをしていただく機会をご提供させていただく目的でこの度、社会人修士課程社会人コースを充実させました。

1. 久留米工業大学大学院修士課程修了に必要な条件は次の二つです。

1) 修了必要単位数 30単位以上

a) 特別報告（4単位）を選択した場合

専攻ごとに決められている以下の必修科目（6単位）と選択科目（24単位以上）を修得します。選択科目については、別表1に挙げた科目はオンデマンドで受講可能です。

専攻名	必要単位数	備考
エネルギーシステム工学専攻	必修6単位 選択24単位以上	【必】 エネルギーシステム特別報告（4単位） 【必】 エネルギーシステム工学特別セミナー（2単位）
電子情報システム工学専攻		【必】 電子情報システム特別報告（4単位） 【必】 電子情報システム工学特別セミナー（2単位）
モビリティシステム工学専攻		【必】 モビリティシステム工学特別報告（4単位） 【必】 モビリティシステム工学特別セミナー（2単位）

b) 修士論文（10単位）を選択した場合

専攻ごとに決められている以下の必修科目（12単位）と選択科目（18単位以上）を修得します。選択科目については、別表1に挙げた科目はオンデマンドで受講可能です。

専攻名	必要単位数	備考
エネルギーシステム工学専攻	必修12単位 選択18単位以上	【必】 エネルギーシステム工学特別実験演習（10単位） 【必】 エネルギーシステム工学特別セミナー（2単位）
電子情報システム工学専攻		【必】 電子情報システム工学特別実験演習（10単位） 【必】 電子情報システム工学特別セミナー（2単位）
モビリティシステム工学専攻		【必】 モビリティシステム工学特別実験演習（10単位） 【必】 モビリティシステム工学特別セミナー（2単位）

2) 必要な研究指導を受け、特別報告（4単位）あるいは特別実験演習（修士論文：10単位）の審査及び最終試験に合格することです。

2. 修士課程社会人コースの特徴

- 1) 講義はオンデマンドの方式での単位取得が可能ですから、会社を休まずに好きな時間に必要な単位取得が可能です。オンデマンドで受講可能な科目の一覧は、別表1に記載してあります。
- 2) 皆さんを受け入れて研究指導することができる大学院指導教員は教員一覧（P65～）の「指導教員欄」に○のある方です。なお、土曜日に限らず指導教員との相談で平日の夕方でも対面・オンラインのいずれでも研究指導受けることはできます。（指導可能な教員については、別表2をご確認下さい）
- 3) 土曜日等に演習科目受講することができます。別表2には、土曜日等に①研究指導 ②演習科目受講の対応が可能な教員を掲載しています。②演習科目受講に◎が付いた教員は、土曜日に本学に来ていただき、プログラミング等の演習を受講することができます。なお、詳しい内容は各教員にお問い合わせください。

- 4) 修了年限は、最大で4年間にすることができます。社会人として働く際に急な仕事の発生などにより2年間で修了することが難しいことが予想される場合に、予め指導教員と相談して修了年限を最大4年間まで延長することが可能です。

参考1： 入学料・授業料・実験実習費及び教育充実費の年額

専攻名	入学料	授業料	実験実習費	教育充実費
エネルギーシステム工学 電子情報システム工学 モビリティシステム工学	110,000円	600,000円	120,000円	100,000円
備考 本学卒業生の入学料は免除する。				

参考2： 長期履修される場合（長期履修学生）の入学料・授業料・実験実習費及び教育充実費の年額

履修期間	年次	入学料	授業料	実験実習費	教育充実費
3年	初年次	110,000円	400,000円	80,000円	68,000円
	2、3年次		400,000円	80,000円	66,000円
4年	初年次	110,000円	300,000円	60,000円	50,000円
	2、3、4年次		300,000円	60,000円	50,000円
備考 本学卒業生の入学料は免除します。 ※令和7年度入学者より適用します。					

3. 連絡先など

興味がある方は、久留米工業大学入試課（TEL：0942-65-3488（直通）、FAX：0942-65-3487、E-mail nyushi@kurume-it.ac.jp）へお問い合わせください。また、直接、別表2に示した教員にメール等でご相談いただいても構いません。

別表1

◆オンデマンドで受講可能な科目について

専攻名	オンデマンド受講可能科目	
エネルギーシステム工学専攻	【選】ビッグデータ応用特論／2単位 【選】資源エネルギー工学特論／2単位 【選】建築環境計画特論Ⅰ／2単位	【選】応用物理工学／2単位 【選】地域熱環境工学／2単位
電子情報システム工学専攻	【選】データサイエンス特論／2単位 【選】電子回路工学特論／2単位 【選】ビッグデータ応用特論／2単位 【選】統計分析特論／2単位	【選】電子情報工学基礎論Ⅰ／2単位 【選】電子物性工学特論／2単位 【選】ロボット工学特論／2単位
モビリティシステム工学専攻	【選】シミュレーション計算学／2単位 【選】自動車システム・ダイナミックス／2単位	

別表 2

◆社会人コースの受入れに当たり、土曜日等に①研究指導 ②演習科目受講の対応が可能な教員

※ ◎⇒対応可能 ×⇒対応不可 —⇒担当なし

【エネルギーシステム工学専攻】

教 員 名	研究分野（シーズ集より）	①	②	E-mail
松尾 重明 教授	生体力学をベースにした、医療・福祉機器開発、リハビリテーション機器開発、生体計測機器開発三次元動作解析による体への負荷計測および考察農業機械の設計および効率化、計算機シミュレーションによる強度解析	◎	—	matsuo@kurume-it.ac.jp
澁谷 秀雄 教授	精密加工、微細加工	◎	—	hideo@kurume-it.ac.jp
大森 洋子 教授	歴史的環境保全、観光活動、まちづくり、景観	◎	—	omori@kurume-it.ac.jp

【電子情報システム工学専攻】

教 員 名	研究分野（シーズ集より）	①	②	E-mail
小田まり子 教授	AI 技術の障害児教育・福祉への応用、AI 基礎教育、地域課題解決のための AI 利用、教育工学	◎	◎	mari@kurume-it.ac.jp
河野 央 教授	コンピュータグラフィックスを用いた表現対象の認識の拡張	◎	◎	kono@kurume-it.ac.jp
馬場隆寛 准教授	メンタルヘルス異常検知	◎	◎	baba.takahiro@kurume-it.ac.jp

【モビリティシステム工学専攻】

教 員 名	研究分野（シーズ集より）	①	②	E-mail
麻生 茂 特別教授	1) 航空宇宙流体力学、2) 宇宙輸送システム工学、3) 極超音速流における空力加熱とその防御技術、4) 超音速混合やハイブリッドロケットエンジンの宇宙推進、5) 小型電動航空機の研究など	◎	—	aso@kurume-it.ac.jp
江藤徹二郎 教授	磁性金属間化合物の物性研究、低温・高圧などの極限環境下における X 線構造解析、等	◎	—	teto@kurume-it.ac.jp
吉野貴彦 准教授	自動車の運動性能に関すること。	◎	◎	yoshino@kurume-it.ac.jp

※久留米工業大学 研究者情報掲載 URL : https://www.kurume-it.ac.jp/teacher_search/index.html

※上記のオンデマンド対応科目及び土曜日等に研究指導が可能な教員に関する情報は、変更になる場合があります。

令和 7 (2025) 年度 秋季入学 推薦入学試験

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻	若干名	モビリティシステム工学専攻	若干名
電子情報システム工学専攻	若干名		

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2025年 8 月卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2025年 8 月までに授与見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2025年 8 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年 8 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年 8 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年 8 月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- (9) 本学において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願および試験日程等

出 願 期 間	2025年 6 月10日(火)～6 月20日(金)※
試 験 日	7 月 6 日(日)
試 験 場	本学
合 格 発 表	7 月18日(金)

※締切日消印有効

4. 選考方法

プレゼンテーション、面接および出願書類等により総合的に選考します。

＊プレゼンテーション

久留米工業大学大学院アドミッション・ポリシーおよび志望専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、大学院を志望した理由、大学院で何を学びたいか、将来の夢や目標等を総合して10分程度で発表してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類

- ① 志願票（様式1）
- ② 推薦書（様式3）
- ③ 卒業研究報告および研究（希望）計画報告書（様式4）
- ④ 志望理由書（様式5）
- ⑤ 卒業証明書または卒業見込証明書（出身大学長または学部長が発行したもの）
- ⑥ 単位取得証明書または成績証明書

出身大学長または学部長が発行したもので、履修した科目の単位数および成績評定を記入したもの

⑦ その他

イ) 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること

ロ) 在日外国人で入学を志願する者は、住民票または在留カードの写し(両面)および留学同意書(様式6)、国内連絡人届出書(様式7)を提出すること。

ハ) 出願資格(3)および(5)に該当する者は、出願する前にあらかじめ本学入試課に申し出て、その指示を受けること

(2) 入学検定料

30,000円(本学卒業生の検定料は10,000円)

本学指定の銀行振込依頼書により指定された期間内に振込手続を行ってください。

(3) 出願上の注意事項

① 出願後の志望専攻の変更は認めません。

② 出願は郵送(簡易書留)に限ります。(締切日消印有効)

③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(4) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL 0942-65-3488

6. 合格発表

合否の結果は、本人へ郵送で通知します。

7. 入学手続

入学料・授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続を行ってください。

(入学手続の詳細は、合格発表の際に通知します。)

■ 学納金

単位：円

	入学手続時	2026年度 前期
入 学 料	110,000	—
授 業 料	300,000	300,000
実験実習費	60,000	60,000
教育充実費	50,000	50,000
委託徴収費	16,750	10,000
計	536,750	420,000

※本学卒業生の入学料は免除します。

■ 入学手続期間

	日 時
入 学 料	2025年7月22日(火)～7月29日(火)
授 業 料 等	8月18日(月)～8月29日(金)

8. 注意事項

(1) 受験の際、受験票は必ず携帯すること。

(2) 出願手続後は、出願書類の記載事項の変更は認めない。

9. 入学辞退の手続

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続を完了してください。入学手続完了時納入金のうち、入学料を差し引いた額を返還します。

受付期間：2025年9月5日(金) 17時まで(時間厳守)

連絡先：久留米工業大学 入試課 TEL 0942-65-3488

令和 7 (2025) 年度 秋季入学 一般入学試験

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻	若干名	モビリティシステム工学専攻	若干名
電子情報システム工学専攻	若干名		

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2025年 8 月卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2025年 8 月までに授与見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2025年 8 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年 8 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年 8 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年 8 月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- (9) 本学において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願および試験日程等

出 願 期 間	2025年 6 月10日(火)～6 月20日(金)※
試 験 日	7 月 6 日(日)
試 験 場	本学
合 格 発 表	7 月18日(金)

※締切日消印有効

■ 試験科目および時間

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～13:00	14:00～
		外国語	専 門	
エネルギーシステム 工 学 専 攻	英 語		次の 9 科目中、2 科目選択 ・応用物理学 ・材料力学 ・熱力学 ・流体力学 ・機械力学 ・建築設備工学 ・建築環境工学 ・建築計画学 ・建築構造工学	面 接

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～12:30	14:00～
		外国語	専 門	
電子情報システム 工 学 専 攻	英 語	次の6科目中、2科目選択 ・工業数学（行列および行列式、微分積分） ・応用物理学（力学、電磁気学およびそれらを融合したもの） ・電気回路（電気回路解析） ・デジタル回路（ブール代数、組合せ回路、順序回路） ・情報工学（情報の表現、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータの仕組み） ・制御工学（伝達関数、時間の応答、周波数応答）		面 接

専攻	時間 科目	9:30～10:45	11:00～13:00	14:00～
		外国語	専 門	
モビリティシステム 工 学 専 攻	英 語	次の6科目中、2科目選択 ・材料力学 ・熱力学 ・流体力学 ・機械力学 ・電気工学 ・電子工学		面 接

- ① 試験当日は、9時までに試験室に入室すること。
- ② 筆記用具は鉛筆を使用のこと。（シャープペンシル可）
- ③ 英語の試験の際、辞書の持ち込みは可。ただし電子辞書は除く。
- ④ エネルギーシステム工学専攻およびモビリティシステム工学専攻の受験者は、専門科目試験の際に、関数機能のついた電卓を携帯すること。ただしプログラムが組める電卓は不可。
- ⑤ 電子情報システム工学専攻の受験者は電卓の使用は不可。

4. 選考方法

筆記試験（外国語100点、専門科目200点）、面接（10点）、および出願書類等により総合的に選考します。

5. 出願手続

(1) 出願書類

- ① 志願票（様式1）
- ② 卒業証明書または卒業見込証明書（出身大学長または学部長が発行したもの）
- ③ 単位取得証明書または成績証明書
出身大学長または学部長が発行したもので、履修した科目の単位数および成績評定を記入したもの
- ④ 受験科目届出票（様式12）
- ⑤ その他
 - イ) 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること
 - ロ) 在日外国人で入学を志願する者は、住民票または在留カードの写し（両面）、留学同意書（様式6）、国内連絡人届出書（様式7）を提出すること
 - ハ) 官公署その他会社等に在職中の者は、所属長の受験許可書（任意様式）を添付すること
- ニ) 出願資格(3)および(5)に該当する者は出願する前に、あらかじめ本学入試課に申し出て、その指示を受けること

(2) 入学検定料

30,000円（本学卒業生の検定料は10,000円）

本学指定の銀行振込依頼書により指定された期間内に振込手続を行ってください。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- ② 出願は郵送（簡易書留）に限ります。（締切日消印有効）
- ③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(4) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL 0942-65-3488

6. 合格発表

合否の結果は、本人へ郵送で通知します。

7. 入学手続

入学料・授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続を行ってください。

（入学手続の詳細は、合格発表の際に通知します。）

■ 学納金

単位：円

	入学手続時	2025年度 前期
入 学 料	110,000	—
授 業 料	300,000	300,000
実 験 実 習 費	60,000	60,000
教 育 充 実 費	50,000	50,000
委 託 徴 収 費	16,750	10,000
計	536,750	420,000

※本学卒業生の入学料は免除します。

■ 入学手続期間

	日 時
入 学 料	2025年7月22日(火)～7月29日(火)
授 業 料 等	8月18日(月)～8月29日(金)

8. 注意事項

- (1) 受験の際、受験票は必ず携帯してください。
- (2) 出願手続後は、出願書類の記載事項の変更は認めません。

9. 入学辞退の手続

入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続を完了してください。入学手続完了時納入金のうち、入学料を差し引いた額を返還します。

受付期間：2025年9月5日(金) 17時まで（時間厳守）

連 絡 先：久留米工業大学 入試課 TEL 0942-65-3488

学内推薦入学試験

1. 専攻課程および募集定員

エネルギーシステム工学専攻 若干名 モビリティシステム工学専攻 若干名
電子情報システム工学専攻 15名（前期12名、後期3名）

2. 出願資格

本学を2026年3月卒業見込みの者で、指導教員の推薦がある者。

3. 出願および試験日程等

	前 期	後 期
出 願 期 間	2025年6月10日(火)～6月20日(金)※	2025年9月5日(金)～9月18日(木)※
試 験 日	7月6日(日)	10月1日(水)
試 験 場	本学	本学
合 格 発 表	7月18日(金)	10月15日(水)

※締切日消印有効

4. 選考方法

プレゼンテーション、面接および出願書類等により総合的に選考します。

*プレゼンテーション：久留米工業大学大学院アドミッション・ポリシーおよび志望専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、大学院を志願した理由、大学院で何を学びたいか、将来の夢や目標等を総合して10分程度で発表してください。

5. 出願手続き

(1) 出願書類

- (ア) 志願票（様式13）※学内推薦専用
- (イ) 推薦書（様式14）※学内推薦専用
- (ウ) 志望理由書（様式5）
- (エ) 卒業見込み証明書
- (オ) 成績証明書
- (カ) その他

- ① 受験票、写真票および入学検定料納入票は必要事項を記入のうえ出願書類に同封すること
- ② 在日外国人で入学を志願する者は、住民票または在留カードの写し（両面）および留学同意書（様式6）、国内連絡人届出書（様式7）を提出すること

(2) 入学検定料

10,000円

本館に設置する証紙販売機により購入してください。

※本学指定の銀行振込依頼書にて振込むこともできます。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- ② 出願の窓口（入試課）受付は17時までです。
※郵送の場合は当日消印有効（簡易書留に限る）
- ③ いったん受理した書類および入学検定料は返還できません。

(4) 出願書類の送付先

久留米工業大学 入試課

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 TEL：0942-65-3488

6. 合格発表

可否の結果は、本人へ郵送で通知します。

7. 入学手続き

授業料等および提出書類について、指定された期間内に手続を行ってください。

(入学手続きの詳細は、合格発表の際に通知します。)

■ 学納金と納入期間

単位：円

	入学手続時	後 期
入 学 料	免除	—
授 業 料	300,000	300,000
実 験 実 習 費	60,000	60,000
教 育 充 実 費	50,000	50,000
委 託 徴 収 費	11,750	15,000
計	421,750	425,000

	日 時
授 業 料 等	2025年7月22日(火)～2026年3月16日(月)

8. 注意事項

- (1) 受験の際、受験票は必ず携帯してください。
- (2) 出願手続後は、出願書類の記載の変更は認めません。

9. 入学辞退の手続き

入学手続き完了後、本学への入学を辞退する場合は、入試課に申し出を行い、下記の期間までに入学辞退の手続きを完了してください。

受付期間：2026年3月31日(火) 17時まで(時間厳守)

連 絡 先：久留米工業大学 入試課 TEL：0942-65-3488

令和 8 (2026) 年度 久留米工業大学から本学大学院へ進学される方の奨学金制度について

本学には久留米工業大学工学部の卒業に引き続き本学大学院へ進学されるみなさんのために、奨学金制度があります。これは、奨学金を助成することにより、学問研究を助成し、将来社会に貢献する有為な人材を育成することを目的としています。

〈特別奨学生制度〉

(1) 第 1 種特別奨学生 (※推薦のみ)

工学部 3 年次前期修了時点の成績が学科上位 5 % の学生は、大学院の年間授業料を 7 割額給付します。
(該当者全員) 注 1) ・ 2)

(2) 第 2 種特別奨学生 (※推薦のみ)

工学部 3 年次前期修了時点の成績が学科上位 15 % の学生は、大学院の年間授業料を 3 割額給付します。
(該当者全員) 注 1) ・ 2)

(3) 特別奨学生 (業績)

「業績による評価基準」の得点上位者に、年間授業料 5 割額給付します。(若干名)

※ 決定は卒業年の 3 月になります。

(4) その他

本学卒業生の入学料は免除します。

注 1) 成績順位は工学部 3 年前期終了時点の学生数 (留年者・編入を除く) および GPA 評価に基づき決定します。

注 2) 編入生の場合は、

① 第 1 種特別奨学生

3 年時の取得単位が 40 単位以上でかつ秀、優の単位が 32 単位以上で学科長が推薦する者

② 第 2 種特別奨学生

3 年時の取得単位が 40 単位以上でかつ秀、優の単位が 28 単位以上で学科長が推薦する者

注 3) 特別奨学生は 1 年に限り継続できます。但し、大学院 1 年修了時において 18 単位以上取得し、かつ秀・優の数が履修科目の 8 割以上取得した者のみとします。

※ ご不明な点等ございましたら、入試課 (0942-65-3488) または卒業研究担当教員、各専攻長までお問い合わせください。

2026年度 久留米工業大学大学院志願票

Graduate School Application Form Kurume Institute of Technology

志願 研究科／専攻 Intended Degree/Major	工学研究科／Engineering ※いずれかに☑をしてください。 ☐ エネルギーシステム工学／Energy System Engineering ☐ 電子情報システム工学／Electronic Information System Engineering ☐ モビリティシステム工学／Automotive System Engineering			受験番号 Examination Number	※本学使用欄（記入不要） ※For university use	
氏名 Full Name	ふりがな			性別／Gender	写真貼付 上半身脱帽正面向 最近 3 か月以内撮影のもの (4 cm × 3 cm) Attach a photo Attach an autograph taken within the past 3 month. Upper body, uncover the head and face.	
	漢字名 Chinese character			☐ 男／Male ☐ 女／Femamle		
	(外国人のみ) In Alphabets	FAMILY NAME／MIDDLE NAME／GIVEN NAME		国籍／Nationality		
生年月日 Date of birth	(西暦) 年 月 日 生 (満 歳) (Month／Date／Year) Age (as of April, 2026) :					
現住所 Present Address	〒 (Post code) - ☎ (Phone number) - -					
合否連絡先 Contact Address	〒 (Post code) - ☎ (Phone number) - -					
メール アドレス Mail Address						
出願資格 Graduate Institution	Conferred or Anticipated Date: (Month／Year)		Type ☐ 国立 (National) ☐ 公立 (Public) ☐ 私立 (Private)	Name of School : 大 学		☐ 修了見込
	年 月			Degree : 研究科修士課程		☐ 卒業見込
				学 部		☐ Undergraduate
				Major of : 学 科 専 攻		☐ 修了 ☐ 卒業 ☐ Graduated
保証人 Sponsor／ Guarantor	氏名 Full Name				志願者との続柄 Relationship to Applicant	
	現住所 Present Address	〒 (Post code) - ☎ (Phone number) - -				
志望教員 Supervisor	指導教員名／Name of Supervisor				☐ 承諾済	
					※出願に当たっては、事前に本学の指導教員に 受入れ承諾を受けてください。(承諾後に☑)	

学歴／Academic Background									
外国人留学生は学部・学科・研究科・および専攻名まで記入すること。Fill in all the information about faculty, department, graduate school, and major ※外国人留学生以外は、高等学校卒業から記入可。									
学校名 School Name			所在地 City／Country		入学および卒業 Entrance & Completion (Month／Year)			学位（見込） Degree	
小学校 Primary Education					年	月～	年	月	
					From	To			
中学校 Lower Education					年	月～	年	月	
					From	To			
高校 Upper Secondary Education					年	月～	年	月	
					From	To			
大学 Upper Education					年	月～	年	月	
					From	To			
日本語学校 Japanese Language School					年	月～	年	月	
					From	To			
					年	月～	年	月	
					From	To			
通算就学期間／Total					年／Years			か月／Month	
職歴／Employment History									
勤務期間 Employment Period (Month／Year)			勤務年数 Service Years	勤務先・団体名 Company Name	所在地 City／Country	主な業務内容 Job Title／Work Experience			
年 月～ 年 月 From To									
年 月～ 年 月 From To									
年 月～ 年 月 From To									
年 月～ 年 月 From To									

[illegible]

自己推薦書（AO 入学試験志願者のみ）

Self Recommendation Application (only for applicants of Admissions Office Entrance)

日付／Date 西暦 年／Year 月／Month 日／Day

氏名／Name _____ 印
(Seal)

自己評価について志願者本人が記入してください。/Please write a self-evaluation (To be stated by applicant).

推 薦 書

Recommendation Application

日付 / Date 年 月 日

久留米工業大学大学院工学研究科長 殿

Attn: Dean, GSE, Kurume Institute of Technology

大学・学部名 / Organization

教員氏名・職位 / Name of supervisor・Title

印

(Seal)

住所 / Address

電話 / Telephone

E-mail

次の者を貴研究科に推薦します。

I hereby recommend the following individual to take the entrance examination of your Graduate School.

志願者氏名 / Applicant's Name

志願者に関する調査 / Survey on Applicant

学歴（志願者が記入してください） / Educational History（To be stated by applicant）

大学 / University		学部・学科 / Department	
卒業年月 / Date of Graduation	西暦	年 / Year	月 / Month

本学で希望する研究内容の概要（志願者が記入してください）
Outline to research to be conducted at GSE, KIT（To be stated by applicant）

人物評価（本人の特性を具体的に、将来性なども含めて記入してください）
Personal evaluation（Specific personal attributes） of applicant

その他（本人の在学中の身分措置など特記することがあれば記入してください）
Others（such as status of student during studies or any other special remarks）

卒業研究報告 および 研究（希望）計画書

Overview of the bachelor's thesis

日付 / Date 西暦 年 / Year 月 / Month 日 / Day

氏名 / Name _____ 印
(Seal)

学歴 Educational Background	年 / 月 Year / Month	大学等名 University		
	/ - /			
	/ - /			
論文指導担当者 Thesis supervisor	教員氏名 / Name		職位 / Title	
	所属大学 / University			
	E-mail or Phone			

卒業論文の概要を記入してください。論文、口頭等の発表があれば、その題名・発表機関・発表年月も記入してください。
また、研究（希望）計画の概要を記入してください。
Overview of your graduation thesis. If you presented papers or made oral presentations, please write the title, organization, conferences and date as well. Also outline of your intended.

志 望 理 由 書

Personal Statement

工学研究科 Preferred Major	工学専攻志望
氏 名 Name in full	

あなたが本大学院に関心を持った理由、入学を希望する理由、大学院で何を学びたいか、将来の夢や目標等について記入してください。

How did you become interested in the K.I.T. Graduate Study Program? Why do you want to enter K.I.T.?
What would you like to study? What are your ambitions and goals for the future?

受験番号

※大学記入欄

留 学 同 意 書

CERTIFICATE OF AGREEMENT

久留米工業大学長 殿

To President of Kurume Insititute of Technology

学生氏名 Name of student	
生年月日 Date of birth	
国 籍 Nationality	

私は、上記の者が久留米工業大学大学院外国人留学生として入学することに同意いたします。
また、本邦在留中同人に関わる一切の責任を負うことを誓約いたします。

I, as guardian of the above-mentioned student, hereby consent to his (her) entering to Kurume Institute of Technology as a student of the graduate devision.

I also agree to assume any and all responsibilities while he (she) stays in Japan.

日 付 Date of Agreement	20 年 月 日 (year) (month) (day)
親権者氏名 Guardian's Full Name	署 名 Signature
現 住 所 Present Adress	〒 ー 電話 / Phone
本人との関係 Relation to the Applicant	

国内連絡人届出書

フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日 （ ） 歳
志願者氏名			
アルファベット		性別	☐ 男 ・ ☐ 女

【国内連絡人】

現住所 都道府県名から建物名まで 記入のこと	〒	
フリガナ		印または自署欄
氏名		
電話番号		
志願者との関係		

☐国内連絡人は、日本に定住し生計を立てている成年者とします。

☐国内連絡人が外国籍の場合は、少なくともあなたが本大学院在学中には帰国しない人物であり、母国のあなたの保護者と連絡の取れる人物を選任してください。

○この国内連絡人届出書に記載された個人情報については、他の目的に使用しません。

受験許可・承諾書（社会人）

久留米工業大学学長 殿

氏名 _____

生年月日（西暦） 年 月 日生

上記のものが、貴大学院 工学研究科を受験することを認めます。

なお、本人が貴大学院に入学した場合には、在職のまま就学することを承諾いたします。

(西曆) 年 月 日

住所

機関名

所属長

印

工学研究科	☐ エネルギーシステム ☐ 電子情報システム ☐ モビリティシステム	工学専攻 志望 ※いずれかに ☒ を付してください
志望教員名		

本学大学院における研究（希望）課題

本学大学院における研究計画の概要と履修計画を記入してください。

研究業績報告書

日付 年 月 日

氏名 印

次の①～⑥について記入してください。枚数は問いません。（入力する場合は10.5ポイント）

- ① 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を記載してください）

著書（全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください。）題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始—最終、発行年の順に記入してください。

- ② 学術雑誌等または商業誌における解説、総説

- ③ 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。）

著書（全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載してください。）題名、発表した学会名、論文等番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○を付してください。

- ④ 国内学会・シンポジウム等における発表

③と同様に記載してください。

- ⑤ 特許等（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。）

- ⑥ その他（受賞歴等）

長期履修申請書

年 月 日

久留米工業大学学長 殿

専攻名

学生番号

※入学後に申請する場合のみ

(フリガナ)

氏名

印

生年月日

年

月

日

住所

〒

—

—

電話番号

—

—

長期履修学生として承認いただきたく、下記のとおり申請します。

記

入学

年

月

在学年数

年

(今年度末時点)

長期履修期間

入学時から

年

(申請する修業年限)

修了予定

年

月

修了予定

申請理由

☐職業を有し、就業している

☐家事・介護・育児・出産等

☐その他

(具体的な事由)

職業について

・勤務先

・職種

・勤務体制・勤務時間

午前・午後

時

分

～

午前・午後

時

分

・1週間の勤務日数

日

1か月の勤務日数

日

・土曜・日曜の勤務

(有・無)

以上

受験科目届出票

工学研究科 修士課程	☐ エネルギーシステム ☐ 電子情報システム ☐ モビリティシステム
氏 名	工学専攻 志願

受験する専攻の受験科目を選択してください。(☑を入れること)

※ 外国語は、英語が必須です。

◇エネルギーシステム工学専攻

専門 ※次の9科目中2科目選択

- ☐応用物理学
- ☐材料力学
- ☐熱力学
- ☐流体力学
- ☐機械力学
- ☐建築設備工学
- ☐建築環境工学
- ☐建築計画学
- ☐建築構造力学

◇電子情報システム工学

専門 ※次の6科目から2科目選択

- ☐工業数学
- ☐応用物理学
- ☐電気回路
- ☐デジタル回路
- ☐情報工学
- ☐制御工学

◇モビリティシステム工学専攻

専門 ※次の6科目中2科目選択

- ☐材料力学
- ☐熱力学
- ☐流体力学
- ☐機械力学
- ☐電気工学
- ☐電子工学

※届出科目以外は受験できません。

2026年度久留米工業大学大学院 志願票

(学内推薦専用)

氏 名	ふりがな	生年月日	年 月 日生 (満 歳)	受験番号 ※大学記入欄
		性 別	男 ・ 女	
			志望専攻	専攻
学生番号		所属学部学科	学科	
入 学	年 4 月	卒業見込	年 3 月	
志望教員	指導教員名			写真貼付 上半身脱帽正面向 最近3か月以内 撮影のもの (4 cm × 3 cm)
	☐ 上記の指導教員の承諾を受けています (承諾後☑をしてください) ※「教員一覧」の指導教員欄参照のこと			
現 住 所	〒 - ☎ - -			
合 否 連 絡 先	〒 - ☎ - -			
E-mail				
緊 急 連 絡 先	氏 名		続 柄	
	住 所	〒 - ☎ - -		

学歴 (高等学校卒業から記入すること)	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

※学部、学科まで記入すること。

卒業研究報告および計画書の概要

卒業研究報告および計画書の概要	
研究題目	
指導教員	
【内容要旨】 ※論文・口頭等の発表があれば、その題名、発表機関、発表年月日も記入	

語学資格検定

[illegible]

※証明するものを提出すること

(注) 志望教員が卒業研究の指導教員と異なる場合は、出願前に入学後の受入承諾の確認を必ず行うこと。

なお、志望教員は2026年度研究指導員に限る。

2026年度久留米工業大学大学院 推薦書

久留米工業大学大学院工学研究科長 殿

推薦者記入欄（記載者は卒業研究の指導教員）

記載日：	年	月	日	
久留米工業大学	機械システム・交通機械・建築・設備 情報ネットワーク・教育創造 (※いずれかに○)			職位：
	工学科			氏名（自署）：

以下の理由により下記の入学志願者を推薦します。

【推薦理由】 人物評価（本人の特性を具体的に、将来性なども含めて記入してください。）

【その他】 本人在学中の身分処置など特記することがあれば記入してください。

被推薦者【志願者】記入欄

氏名		生年月日	年	月	日
学生番号		所属学科	工学部		学科
志望専攻	☐ エネルギーシステム ☐ 電子情報システム 専攻 ☐ モビリティシステム ※いずれかに ☒ を付してください	入学	年	4	月
		卒業見込	年	3	月
		志望教員			

※大学記入欄

成績	位／名中（３年次前期終了時点）	確認印
学業成績	累計 GPA： 平均点：（３年次前期終了時点）	

◎ この「推薦書」は、推薦者が直接入試課へご提出ください。

郵便はがき

(住所)

(氏名)

様

久留米工業大学大学院 受験票

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※受験番号は記入しないでください。

試験区分	☐	AO入学試験
	☐	推薦入学試験
	☐	一般入学試験
	☐	秋季入学推薦入学試験
	☐	秋季入学一般入学試験
志望専攻	☐	エネルギーシステム工学専攻
	☐	電子情報システム工学専攻
	☐	モビリティシステム工学専攻

○試験区分欄のいずれかを□にチェックを入れてください。
○志望専攻欄のいずれかを□にチェックを入れてください。

久留米工業大学大学院工学研究科
(修士課程)

写真票

受験番号	※
氏名	
志望専攻	工学専攻

写真貼付

(4 cm × 3 cm)

〔3ヶ月以内〕
上半身
正面

入学検定料納入票

氏名	
志望専攻	工学専攻
入学検定料 円	

銀行収納印

2

◆大学提出用

銀行振込金領収書

入学検定料

依頼日	西暦 年 月 日
金額	円
氏名	

銀行収納印

3

◆本人保管用

この領収書は入学検定料の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

銀行振込依頼書

電信扱

※勘定科目		手数料			
依頼日	年 月 日	振込指定	電信扱	金額	円
振込先銀行	三井住友銀行 久留米支店		口座番号	149179	現金
受取人	金目	普通預金	口座名	クニメコウギョウダイガク 学校法人 久留米工業大学	内訳
依頼人(受験者)	整理番号	氏名(フリガナ)	TEL		

銀行収納印

1

取扱いは銀行へお願い

銀行取扱期間

2025年6月11日(水) ~ 2026年1月29日(木)

①太線内を打電してください。

②収納印は1、2、3にもれなく押印してください。

推薦入学試験

試 験 日	※
試験開始時刻	※
試 験 会 場	※

※入試課記入欄

当日は、試験開始時刻20分前までに控室（※ ）に入室してください。

一般入学試験

	エネルギーシステム工学専攻 モビリティシステム工学専攻	電子情報システム工学専攻
入室終了時刻	9：00 まで	9：00 まで
外国語	9：30 ～ 10：45	9：30 ～ 10：45
専 門	11：00 ～ 13：00	11：00 ～ 12：30
面 接	14：00 ～	14：00 ～

〈注意事項〉

○受験票を紛失したり忘れた場合は、必ず申し出てください。

○PCを使用される場合はご持参ください。

〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66

久留米工業大学 入試課

TEL (0942) 65-3488

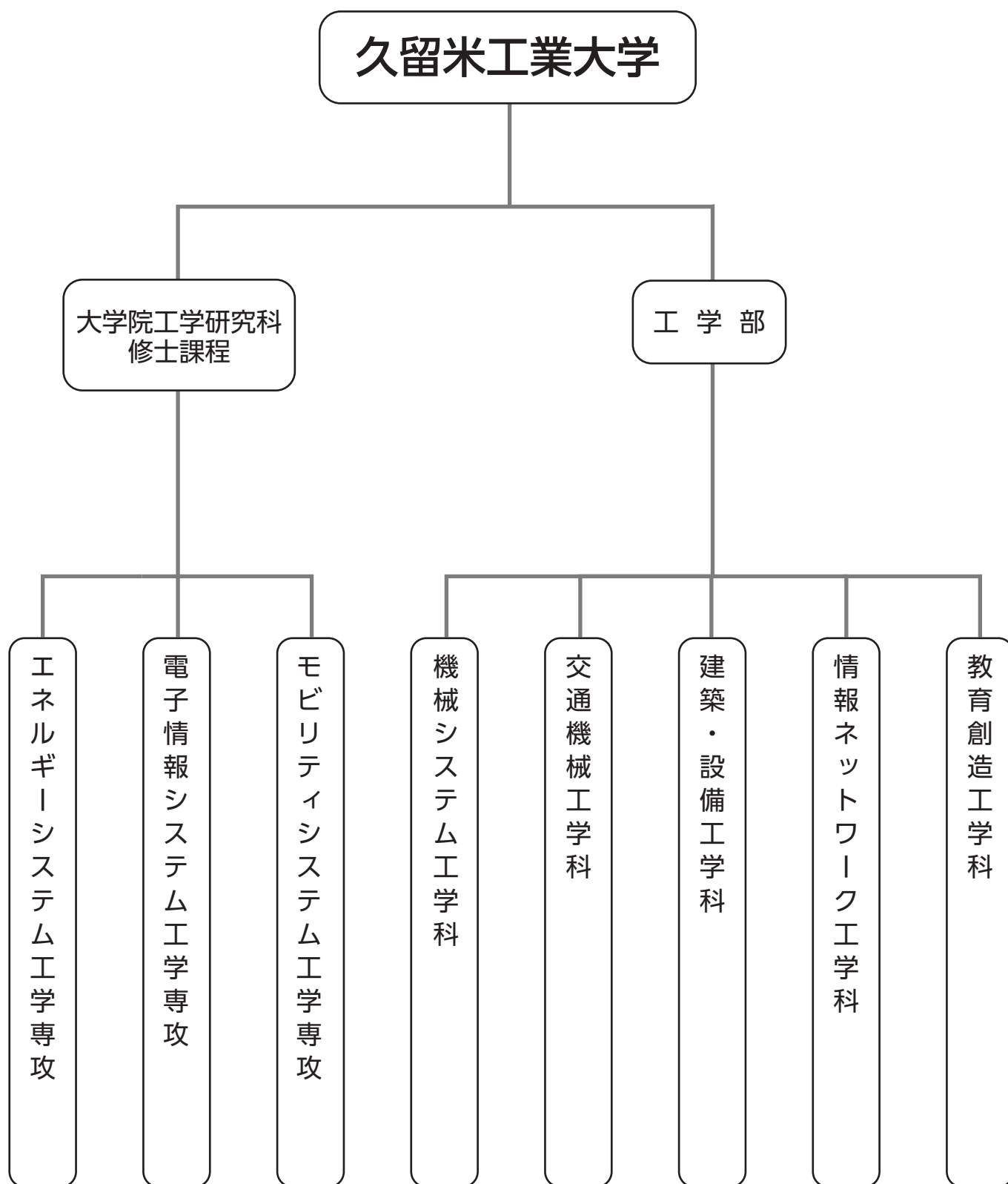
久留米工業大学 大学院

Graduate School of
Kurume Institute of Technology

令和 8 （2026）

大学院工学研究科

◎久留米工業大学組織図



大学院 副専攻プログラム 「地域課題解決型高度 AI 教育プログラム」について

目的

データサイエンス・AI を、自身の専門に取り入れ、よりの確に地域課題の解決等に活用するために必要となる高度な知識および能力（様々な角度から数理・データサイエンス・AI を生かす視点）を修得することを目的とします。

履修表

（必修科目 1 科目、選択科目 3 科目で構成）

科目名	開講年次	単位数	履修単位数
地域課題解決型高度 AI 教育プログラム特別講義	1 年後期	2 単位必修	2 単位
データサイエンス特論	1 年後期	2 単位選択	左記の内から 2 単位以上
統計分析特論	1 年後期	2 単位選択	
ビッグデータ応用特論	1 年後期	2 単位選択	
修了要件			合計 4 単位以上

※地域課題解決型高度 AI 教育プログラム特別講義は、3 専攻共通科目となります。

※データサイエンス特論・統計分析特論は、電子情報システム専攻科目となります。

※ビッグデータ応用特論は、エネルギーシステム専攻及び電子情報システム専攻科目となります。

修了要件及び認定

本プログラムが定める授業科目の内、必修科目 2 単位及び選択科目を 2 単位以上修得済みとなった場合、学長が大学院研究科委員会の議を経て、プログラムの修了を認定します。

修了証の授与

本プログラムの修了の認定を受けた修士学生に対して、修了証を授与します。

◎大学院工学研究科

エネルギーシステム工学専攻

カリキュラム

分野	授業科目名	必修・選択	単位数	
共通科目	エネルギーシステム工学特別セミナー	必修	2	(副専攻)
	エネルギーシステム工学特別実験演習	必修	10	
	エネルギーシステム工学特別講義Ⅰ	選択	2	
	エネルギーシステム工学特別講義Ⅱ	選択	2	
	ビッグデータ応用特論	選択	2	
	応用数学特論	選択	2	
	応用物理学	選択	2	
	資源エネルギー工学特論	選択	2	
	科学技術英語特論	必修	2	
	地域課題解決型高度 AI 教育プログラム特別講義	選択	2	
	高度 AI コーオプ実践Ⅰ	選択	2	
	高度 AI コーオプ実践Ⅱ	選択	2	
	高度 AI コーオプ実践Ⅲ	選択	2	
	高度 AI コーオプ実践Ⅳ	選択	2	
熱・流体 エネルギー工学	流体エネルギー工学	選択	2	社会人入学生については選択科目とする (副専攻) (修了に必要な単位に含まない)
	熱流動工学特論	選択	2	
	熱エネルギー工学特論	選択	2	
	エネルギー変換工学	選択	2	
エネルギー機器 システム工学	エネルギー材料強度学	選択	2	
	エネルギー機器強度学	選択	2	
	知能制御工学特論	選択	2	
	振動・制御工学特論	選択	2	
	エネルギー機械工学	選択	2	
	エネルギー材料工学	選択	2	
	マイクロ・ナノ加工学	選択	2	
建築・環境 システム工学	環境エネルギー工学	選択	2	
	建築熱環境計画	選択	2	
	地域熱環境工学	選択	2	
	建築環境計画特論Ⅰ	選択	2	
	建築環境計画特論Ⅱ	選択	2	
	建築環境計画特論Ⅲ	選択	2	
	建築環境工学特論	選択	2	
	建築構造工学特論Ⅰ	選択	2	
	建築構造工学特論Ⅱ	選択	2	
共通科目	エネルギーシステム特別報告	*必修	4	

*留学生、社会人で授業科目を主として履修する者は、エネルギーシステム工学特別実験演習（必修10単位）に代えて、エネルギーシステム特別報告（必修4単位）を修得する。

*エネルギーシステム工学特別実験演習の単位（10単位）は2年後期の終了後、合格した場合に付与する。

注）開講期については、年度により変更することがある。

電子情報システム工学専攻

カリキュラム

分野	授業科目名	必修・選択	単位数	
共通科目	電子情報システム工学特別セミナー	必修	2	(副専攻) 社会人入学生については選択科目とする (副専攻) (修了に必要な単位に含まない)
	電子情報システム工学特別実験演習	必修	10	
	電子情報システム工学特別講義Ⅰ	選択	2	
	電子情報システム工学特別講義Ⅱ	選択	2	
	データサイエンス特論	選択	2	
	科学技術英語特論	必修	2	
	地域課題解決型高度 AI 教育プログラム特別講義	選択	2	
	高度 AI コーオプ実践Ⅰ	選択	2	
	高度 AI コーオプ実践Ⅱ	選択	2	
	高度 AI コーオプ実践Ⅲ	選択	2	
	高度 AI コーオプ実践Ⅳ	選択	2	
電子回路工学	電子情報工学基礎論Ⅰ	選択	2	(副専攻)
	電子情報工学基礎論Ⅱ	選択	2	
	電子回路工学特論	選択	2	
	電子物性工学特論	選択	2	
知能制御工学	ビッグデータ応用特論	選択	2	
	知能制御工学基礎論	選択	2	
	知能制御工学特論Ⅰ	選択	2	
	知能制御工学特論Ⅱ	選択	2	
	ロボット工学特論	選択	2	
情報システム工学	情報システム工学基礎論	選択	2	(副専攻)
	統計分析特論	選択	2	
	情報システム工学特論Ⅰ	選択	2	
	情報システム工学特論Ⅱ	選択	2	
	生体システム工学特論	選択	2	
計算機システム工学	計算機システム工学基礎論Ⅰ	選択	2	
	計算機システム工学基礎論Ⅱ	選択	2	
	計算機システム工学特論Ⅰ	選択	2	
	計算機システム工学特論Ⅱ	選択	2	
	計算機アーキテクチャ工学特論	選択	2	
共通科目	電子情報システム特別報告	*必修	4	

*留学生、社会人で授業科目を主として履修する者は、電子情報システム工学特別実験演習（必修10単位）に代えて、電子情報システム特別報告（必修4単位）を修得する。

*電子情報システム工学特別実験演習の単位（10単位）は2年後期の終了後、合格した場合に付与する。

注）開講期については、年度により変更することがある。

モビリティシステム工学専攻

カリキュラム

分野	授業科目名	必修・選択	単位数
共通科目	モビリティシステム工学特別セミナー	必修	2
	モビリティシステム工学特別実験演習	必修	10
	モビリティシステム工学特別講義	選択	2
	科学技術英語特論	必修	2
	地域課題解決型高度 AI 教育プログラム特別講義	選択	2
	高度 AI コーオプ実践 I	選択	2
	高度 AI コーオプ実践 II	選択	2
	高度 AI コーオプ実践 III	選択	2
	高度 AI コーオプ実践 IV	選択	2
モビリティシステム 基礎科目	応用数学・力学特論	選択	2
	流体エネルギー工学	選択	2
	振動・制御工学特論	選択	2
	シミュレーション計算学	選択	2
	モビリティエレクトロニクス工学	選択	2
	宇宙輸送システム工学	選択	2
エンジン・ ダイナミクス科目	アドバンスト・エンジンシステム	選択	2
	自動車システム・ダイナミクス	選択	2
	代替エネルギー自動車	選択	2
開発・設計・ 生産工学科目	自動車材料強度学	選択	2
	自動車機器強度学	選択	2
	自動車機器要素設計	選択	2
	モビリティデザイン	選択	2
	モビリティ開発設計工学特論	選択	2
安全・環境工学	環境工学	選択	2
共通科目	モビリティシステム工学特別報告	*必修	4

社会人入学生については選択科目とする
(副専攻)
(修了に必要な単位に含まない)

*留学生、社会人で授業科目を主として履修する者は、モビリティシステム工学特別実験演習（必修10単位）に代えて、モビリティシステム工学特別報告（必修4単位）を修得すること。

*モビリティシステム工学特別実験演習の単位（10単位）は2年後期の終了後、合格した場合に付与する。

注）開講期については、年度により変更することがある。

◎教員一覧

エネルギーシステム工学専攻

職 名	学 位	氏 名	指導教員	指導補助教員	研究テーマ・内容
教 授	博士 (工学)	松本 豊	○		〈コンクリート系柱材のせん断挙動に関する研究〉 近年、大地震で共同住宅等のせん断破壊した鉄筋コンクリート柱や杭の事例が散見されており、継続的に使用できないことが社会的な問題となっております。そこで、本研究では、袖壁付き鉄筋コンクリート柱や場所打ちコンクリート杭のせん断破壊メカニズムを実験および解析的アプローチにより解明する研究を行っています。
教 授	博士 (芸術工学)	大森 洋子	○		〈歴史的環境保全とツーリズム〉 地域に残る町並みや伝統産業などの文化遺産や自然遺産を保全しながら、それらを活用したまちづくりのあり方について研究しています。
教 授	博士 (工学)	池鯉鮒 悟	○		〈建物及び地域の消費エネルギー削減〉 化石燃料や原子力等を極力使用しないで済むように、建物や地域の消費エネルギーを削減する方法について研究しています。そう遠くない将来に起きるエネルギー枯渇問題の解決策を目指します。
教 授	博士 (工学)	白石 元			〈知能制御を取り入れたメカトロニクス機器及びロボットの研究〉 これまであまり知能制御が取り入れられていない、環境分野・福祉分野などへ適用できる実用的なメカトロ機器やロボットの研究開発を行っています。
教 授	博士 (人間環境学)	満岡 誠治	○		〈建築デザインや地域デザインに関する計画史的研究〉 著名な建築家による建築作品や小学校建築などの施設デザイン、またイギリスの住宅地デザインなどを対象にして、それらがどのように誕生し、さらに変化・発展したのかを、社会的且つ文化的な背景を踏まえて明らかにする研究を行っています。
教 授	博士 (工学)	澁谷 秀雄	○		〈固定砥粒による無擾乱鏡面創成〉 半導体・光学デバイスの製造にはダメージレス超平滑面が必要不可欠です。一般的にこれらは遊離砥粒加工によって実現されていますが、加工能率や形状精度、作業環境などに課題を有しています。これを代替する加工技術として、固定砥粒を用いた超精密無擾乱鏡面創成加工に関する研究を行っています。
教 授	博士 (工学)	松尾 重明	○		〈医療現場機器の研究開発〉 機械工学をベースとする医療現場における機器開発および基礎的研究。 アピール点：実用医療機器開発の立案、設計、製作を行っています。
教 授	博士 (工学)	浦野登志雄	○		〈環境負荷低減型コンクリートの耐久性向上に関する研究〉 セメントは、石灰石と粘土を主原料として製造される結合材料です。セメント製造時には大量の二酸化炭素が発生するため、本研究ではフライアッシュ（石炭灰）や高炉スラグ微粉末を用いてセメント使用量を低減した低炭素型コンクリートの研究を行っています。また、海砂などの天然骨材の採取制限に対して、産業副産物である溶融スラグやフェロニッケルスラグなどを砂（細骨材）の代替材料として使用したコンクリートの耐久性について実験的研究を行っています。

職 名	学 位	氏 名	指導教員	指導補助教員	研究テーマ・内容
特別教授	工学博士	鳥居 修一	○		〈シリカナノ流体の次世代作動媒体としての冷却特性に関する研究〉 多くのナノ流体が提案されていますが、シリカナノ流体は安価で安定しており伝熱性能が他の流体と比較して高いことを明らかにしています。そこで、シリカナノ流体を次世代作動媒体として採用した場合の各種冷却機器における冷却特性を実験的に検討しています。
准教授	博士 (工学)	中村 美紗		○	〈光触媒の可視光応答性に関する研究〉 酸化チタン光触媒は大気や水中の有害物質を分解する環境浄化作用を示すことで知られており、建造物の外壁や公衆トイレの内装、空気清浄機のフィルターなどに広く利用されています。屋内で光源としやすい可視光応答型の光触媒の開発を目標に、酸化チタンの性能評価や高機能化について研究しています。
准教授	博士 (芸術工学)	成田 聖	○		〈歴史的建造物調査および活用に関する研究〉 歴史的建造物の調査やリノベーションを行っています。伝統的建造物保存地区などでの家屋調査は、建物に刻まれた地域の歴史をひも解くような行為です。こうして読み取った歴史から、古い建物の積極的な利活用の方法やアイデアを探索し社会に提案していきます。
准教授	博士 (工学)	原田 克彦		○	〈SiC デバイスを適用した複合 PWM 電圧形インバータに関する研究〉 IGBT や MOSFET などの Si デバイスに代わる電力用半導体デバイスとして、SiC デバイスが注目されています。 SiC デバイスは機器を小型化し、高効率化することができる特性を持っており、SiC デバイスを用いた単相および三相複合 PWM 電圧形インバータについて研究しています。
准教授	博士 (工学)	金 炫兌	○		〈安全・安心かつ快適な室内環境に関する研究〉 人間は一日中 9 割以上の時間を室内で過ごしています。 在室者と関わる室内の物理的な要素には温度、湿度、気流、放射、光、音、空気質などがあります。 人間が室内で安全・安心かつ快適な生活を過ごすためには、物理的な要素の許容範囲を策定し、パッシブ又はアクティブ的な解決方法を求める必要があります。本研究室では室内環境の向上のため、物理環境のパッシブ又はアクティブ的な手法を研究しています
准教授	博士 (工学)	近藤亜希子	○		〈慣性センサ、力センサを用いた身体運動および感性センシングに関する研究〉 加速度、角速度や力を計測するセンサを用いて、ヒトの身体運動や、目には見えない「感性」の計測を行うための方法の開発に関する研究を行います。現在の技術では計測・解析方法が確立されていないことに対して、計測システムの構築から実際の解析までを行います。

電子情報システム工学専攻

職 名	学 位	氏 名	指導教員	指導補助教員	研究テーマ・内容
教 授	博士 (工学)	江藤 信一	○		〈食の情報化、おいしさの客観的評価研究〉 「食」から得られる情報として、味数値データや物性的情報・周辺環境など定量的情報と「おいしい・おいそう」という主観的評価を組み合わせて、「おいしさ・おいそう」の客観的評価、新たな食品評価手法を研究します。
教 授	博士 (工学)	吉田 清明	○		〈自己診断可能システムの自律分散系への応用〉 コンピューターネットワークシステムや群れロボットシステムに代表される大規模自律分散システムと、自己診断可能システムによる高信頼化について研究を行っています。
教 授	理学博士	中村 文彦	○		〈電子物性物理学の実験的研究〉 電子間の反発力のため電子が動けなくなった絶縁体に、電場・圧力を加えると金属化しエキゾチック超伝導や磁性などの量子相転移が出現する。新奇な量子相転移現象を探索し、非平衡・非線形効果の立場からの理解をめざします。また、これを利用した新奇機能性電子素子の開発を行っています。
教 授	博士 (芸術工学)	河野 央	○		〈3D コンピュータグラフィックスによる視覚情報デザイン〉 HMDを用いたVR表現、高没入感を活かしたユーザーの感覚の変化の誘発、深層学習を用いた画像生成やバーチャル空間における動作の数理モデル化まで、3次元CGをコア技術としながら様々な要素技術と融合・連携させることで視覚情報を用いた多様な応用研究を行っています。
教 授	博士 (工学)	千田 陽介	○		〈慣性センサを用いた携帯型人間計測システムの研究〉 加速度や角速度を計測する慣性センサを用いて、人間の行動計測を主目的としたシステムの研究開発を行っています。電子回路やソフトウェア、通信の観点から、小さく安く電池の持ちがよく、それでいて高精度な計測システムの実現をめざします。
教 授	博士 (数理科学)	金井 政宏	○		〈交通流の数理的研究〉 車の流れを基本として、交通流を研究しています。自動車が普及して以来、我々は渋滞に悩まされています。計測によれば、渋滞の伝搬速度や発生時の車両密度などは時代や場所によらずほとんど同じ値です。このように渋滞には何らかの法則性があると考えられており、我々はその発生メカニズムを数理的に研究しています。
教 授	博士 (工学)	小田まり子	○		〈AI (Artificial Intelligence: 人工知能) 技術の教育分野への応用〉 AI技術を活用し、知的障害を持つ児童生徒の学習支援を行う研究に取り組んでいます。現在は、表情認識・骨格認識などのAI応用技術により、知的障害のある学習者の感情状態、集中度、理解度を推定し、リアルタイムでメンタリング（助言・支援）するeラーニングシステムを開発しています。
准教授	修士 (工学)	佐塚 秀人			〈インターネットにおける電子認証技術活用〉 インターネットにおける電子認証システムや情報アクセス管理システムの研究開発を行っています。認証技術を基盤とした機能連携は安全かつ柔軟な分散システム構築につながっていきます。
准教授	修士 (工学)	山田 貴裕			〈ウェブアプリケーションに関する研究開発〉 最新のウェブ技術を活用したウェブアプリケーションの開発やアプリケーションの開発環境に関する研究を行っています。ウェブ技術はますます高度化しているので、幅広い分野に応用可能になってきています。

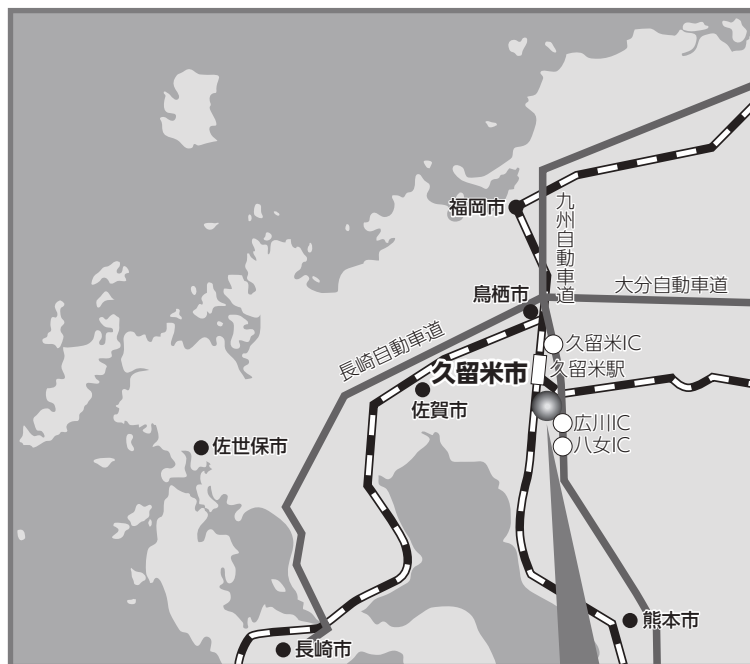
職 名	学 位	氏 名	指導教員	指導補助教員	研究テーマ・内容
准教授	博士 (理学)	野田 常雄	○		〈高密度星の構造および熱的進化についての理論的研究〉 大質量星の最期である超新星爆発時に生成される高密度星（中性子星・クォーク星）についての研究を行っています。このような天体は、巨大な原子核とも例えられ、原子核物理領域の現象が星のスケールで出現します。また、地上の加速器を用いた実験では再現の難しい低温高密度領域でもあるため、星のシミュレーションが重要になっている領域です。
准教授	博士 (情報科学)	中嶋 康博		○	〈R言語を用いたデータ処理〉 統計処理に向くとされるR言語を用いた、データの加工や処理に取り組んでいます。手法を知りパッケージに慣れることで、より効率的な処理を学びます。
准教授	博士 (芸術工学)	工藤 達郎	○		〈xR 技術の実装研究〉 xR (VR/AR/MR などの総称) 技術を応用した、リアルタイム 3 DCG による現実と仮想の融合システム・コンテンツを制作します。また公共空間やイベントでの展示・発表を行うことで社会に還元する実装研究を行います。応用例として、最新のデジタルヒューマンプラットフォーム (Unreal Engine の MetaHuman) を用いた医療用の人体ビジュアライザ、AI アバターによるガイドシステムなど。
准教授	博士 (理学)	馬場 隆寛	○		〈データサイエンス・機械学習を応用した研究〉 データサイエンス・機械学習を応用した研究を行っています。特に精神疾患の早期発見のために SNS やライフログといった日常生活のデータからメンタル面の状態の推定する研究を行っています。
准教授	博士 (工学)	船木 亮平	○		〈人工知能や機械学習、最適化技術の開発と応用〉 人間の感性・好みを反映した解を取得する最適化手法や、熟練者の行動原理を学習する逆機械学習法のアルゴリズム開発、大規模言語モデルを活用しデータベース情報を抽出・要約し応答生成を行うチャットボットの開発などを行っています。また、同時にこれらを工学、医療、芸術などの分野へ応用する研究も行っています。
准教授	博士 (理学)	橋爪 善光	○		〈生体の運動制御および運動支援に関する研究〉 ヒトなどの生体がどのように身体を制御しているのかについて、AI 等データサイエンスの手法を用いて研究を行っています。生体の運動計測あるいはコンピューターシミュレーションを実施し、データ分析をすることで運動のコツを探っていきます。また、アスリートや身体が不自由な方のパフォーマンス向上に寄与するためのシステム開発等をする場合もあります。
准教授	博士 (機能数理学)	境 優一			〈モジュラー微分方程式を用いたモジュラー形式及び頂点作用素代数の研究〉 整数論においてある種の対称性を持つ関数であるモジュラー形式と、物理現象を代数的に定式化した頂点作用素代数の trace 関数との対応関係について研究しています。特に、モジュラー線形微分方程式という線形常微分方程式によって対応関係が特徴づけられる場合の性質の解析を数値実験等を交えて行っています。
特任助教	修士 (工学)	春田 大河			〈AI を応用した教育支援システムの開発〉 AI 技術を応用した、知的障害のある児童向け教育支援システムを開発しています。少人数で行われる授業において、文章生成 AI・音声合成を活用することで児童に授業内容に合致したエスコートを行い、その教育効果を分析しています。

モビリティシステム工学専攻

職 名	学 位	氏 名	指導教員	指導補助教員	研究テーマ・内容
教 授	博士 (工学)	東 大輔	○		〈自動車空力とデザイン〉 自動車空力デザイン支援システムに関する研究を行っています。また、風洞試験やコンピュータ・シミュレーションを駆使して新発想力デザインアイテムの開発も行っています。
特別教授	工学博士	麻生 茂	○		〈宇宙輸送システム及び宇宙推進の研究と小型電動航空機の研究〉 宇宙輸送システムの極超音速飛行や地球大気圏への再突入及び外惑星大気への突入における高い空力加熱と能動的な空力加熱防御法の研究、モーフイング宇宙輸送システムの研究、宇宙輸送システムの成立性に関する研究、TSTO 型宇宙往還機の空力研究を行います。また、宇宙輸送システム用ハイブリッドロケットエンジンの研究を行います。さらに、低環境負荷と高い安全性を目指した小型電動航空機の研究開発を行います。
教 授	博士 (理学)	井野 明洋	○		〈機能性物質の電子構造の研究〉 新奇超伝導物質、トポロジカル物質、モット金属絶縁体転移物質などを対象として、その機能性の発現を担う電子の構造を、直接観測実験や数値計算を組み合わせ研究しています。主な手法として、高輝度放射光やレーザー光源を用いた角度分解光電子分光実験に取り組んでいます。
教 授	博士 (理学)	江藤 徹二郎	○		〈金属や磁性体などの固体物性に関する研究〉 当研究室では磁場によって形状記憶効果を示すホイスラー合金や、環境にやさしい磁気冷凍材料などを対象とし、温度・磁場・圧力をパラメータとしたときに現れる多彩な振る舞いを物性物理学の観点から調べています。実験装置を手作りして測定したり、他大学の最先端設備で共同研究を行っています。
教 授	修士	牧野 宏則			〈新たな脅威に対する航空安全管理の研究〉 人財不足、地球温暖化による急激な気候変動、国際紛争、サイバーテロ、空飛ぶクルマや無人航空機の飛行など、航空をとりまく環境が変化することで、現在新たな脅威が発生、または想定される状況となっています。このような脅威に対するリスク評価、ならびに航空安全の維持、改善を図る研究を行います。
教 授	博士 (工学)	山口 卓也	○		〈内燃機関の効率向上および代替燃料の開発〉 自動車の動力源である内燃機関の更なる効率向上を目指し、内燃機関の各種損失の低減手法を検討します。また、エネルギーセキュリティの観点からプラスチック再生油などの代替燃料のディーゼル機関への適応性について研究します。
准教授	博士 (工学)	田中 基大	○		〈センサを用いた障がい者用入力装置の開発〉 何らかの理由で身体がうまく動かなくなった障がい者が操作できる入力装置の研究を行っています。具体的には使用者の動く部分を何らかのセンサを用いて計測し、その結果をマウス操作等に割り当てることでコンピュータの操作を行えるようにするものです。
准教授	博士 (工学)	吉野 貴彦	○		〈車両運動制御の研究〉 人間にとって操縦しやすく、しかも安全な乗り物（ビークル）を実現するための運動力学と制御に関する研究を行っています。 とくに、限界領域における車両運動制御システムに関する理論的研究と、数学モデルを用いた二輪車の直進安定性解析などを研究します。

職 名	学 位	氏 名	指導教員	指導補助教員	研究テーマ・内容
准教授	博士 (工学)	渡邊 直幸			〈センサを用いた電子制御技術〉 光や振動等に反応するセンサを用いた自動制御を構成するシステムの研究を行っています。特に、自動車に関する安全性・快適性向上のための装置への応用を検討しています。
※ 非常勤講師	工学博士	宮良 明男			〈冷媒の熱物性と熱伝達の研究〉 車両空調や一般空調に利用される地球温暖化などの環境への影響が小さい次世代の冷媒について、設計に必要な熱物性値の測定と予測方法に関する研究を行っています。また、蒸発器および凝縮器における次世代冷媒の熱伝達性能の測定と伝熱促進技術に関する研究を行っています。

案 内 図



J R 久留米駅 西鉄バス { 八女行 } 乗車 (約30分) 工業大学前
 西鉄久留米駅 (30 31 32 35) (約20分) (下車)

- J R (快速) 博多—久留米間 35分
- 西鉄電車 (特急) 福岡—久留米間 30分
- 九州自動車道 広川インターより車で 5 分

本学所在地 〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66

TEL 0942 (22) 2345(代)

FAX 0942 (21) 8770

